

# ごみの減量化にご協力ください

市民の皆さんには日ごろから、「ごみの分別」と「リサイクル資源の収集」にご協力をいただいているところです。また、昨年実施した「ごみに関する市民アンケート」でも、多くのご意見やご要望をいただきました。寄せられた意見を参考にしながら、身近で分かりやすいごみの分別、資源収集に努めますので、ご協力をお願いします。



ごみ分別指導の様子

## 家庭ごみの現状

市内で家庭から出されるごみの量は、ここ数年は横ばい状況となっています。人口が減少していることを考慮すると、市民1人当たりのごみの量は増加傾向にあるといえます（1日約610g・平成21年度市民環境課調べ）。

一方、資源収集品の排出量は年々減少してきています。これは、リサイクルできる資源収集品が「燃やせるごみ」や「燃やせないごみ」へ混入されていることに原因があると考えられます。

実際に、家庭から出されているごみの内容を調査してみると、新聞紙・雑誌・ペットボトルなどの資源収集品が「燃やせるごみ」へ混入していたり、カン類・ビン類などのリサイクル資源が「燃やせないごみ」へ混入しているという事例が多く見

受けられました。  
**ごみ減量化の方法**  
家庭からのごみの排出量を減らすためには次のようなことが大切です。

- 生ごみの水切りをする
- 食品・日用品は使い切る
- マイバック・マイカップ・マイはしを利用する
- 詰め替え製品を利用する
- 簡易包装の商品を買う
- 家庭で生ごみ堆肥をつくる
- 不用品をリサイクルショップ等へ持ち込み再使用する
- 子ども会が行う資源回収など、資源の集団回収を利用し、再生できるものは資源として再利用することを心がけましょう。

ごみの分別と資源の再利用・再利用を進め、環境にも市民にもやさしいごみの減量化を進めるため、ご協力をお願いします。

## 分別指導員を配置しています

こうした状況の中、市では、ごみの分別について、市民の皆さんに一層のご理解をいただくため、「ごみ分別指導員」を配置し、各ごみステーションでの分

別相談に応じています。  
不明な点、疑問に思っていることなど、どうぞ気軽に相談してください。

## ごみの分け方・出し方

表①は、7種10品目ある本市の「ごみの分類」のうち、「燃やせるごみ」「燃やせないごみ」「その他プラスチック」について、注意点を分かりやすく表にしたものです。  
マナーを守ってごみを出すよう心がけましょう。

※タンス・ベッドなど1層を超える大きなもの、テレビ、冷蔵庫など家電リサイクル対象品、オートバイや建築廃材等は、収集できません。詳しくはお問い合わせください。

### 問い合わせ

- ◎分別収集について…市民環境課環境衛生係（☎0215-210100）、各地域局地域振興課住民福祉係
- ◎処理について…高梁地域事務組合クリーンセンター（☎0246511）

表①

## ごみの分け方・出し方 ～ マナーは家庭から ～

分別区分	種類	出し方
燃やせるごみ	生ごみ・貝がら・廃油・紙類（資源に出せないもの）・木製品・布製品・革製品・プラスチック製品・ビニール製品・発泡スチロール・使い捨てカイロなど	○生ごみは水切りを十分する。 ○廃油は、紙や布に染み込ませるか、固める。 ○家具や木の枝などは、小さくしてひもでしばる。
燃やせないごみ	金属類・ガラス・陶器製品・乾電池・小型電化製品（家電リサイクル法対象品を除く）・ライター・刃物・自転車など	○刃物や割れたガラスなどは危険なので、紙などに包み「危険物」と書く。 ○ストーブやファンヒーターの灯油は抜き取る。 ○ガスレンジ・ストーブなどの乾電池は外す。 ※灯油や乾電池が残っていると発火の恐れがあり危険です。 ○自転車には「不用品」と表示する。
資源収集品	プラスチック容器・レジ袋・菓子袋・食品トレイ・洗剤のボトル・ペットボトルのふたなどで、プラマークのあるもの	○中身を使いきって、水洗いなどで汚れを落とす。 ※きれいにするのが難しいものは「燃やせるごみ」に出す。 ※ラベルは取らなくてもよい。

※資源収集品には5種8品目あって、上記「その他プラスチック」のほかに、「ビン類」「カン類」「ペットボトル」「紙パック・ダンボール・古新聞・古雑誌」があります。  
※決められた収集場所に、収集日の朝8時30分までに出してください。  
※カン・ビン・ペットボトル・その他プラスチックは、袋などに入れずバラバラにして収集バッグ、コンテナへ入れてください。  
※割れたビンや、カン類・ビン類で汚れの落ちないものは、「燃やせないごみ」に出してください。